

琵琶湖大橋有料道路 第6期事業

滋賀県道路公社



—① 琵琶湖大橋本体 耐震対策—

これまでの耐震対策

○旧橋

- H9 落橋防止
システム設置
- H11 上部耐震補強工事
- H13 下部耐震補強工事



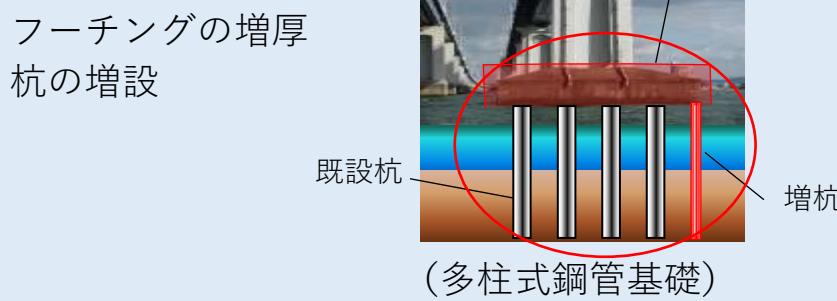
○新橋

- H14 落橋防止
システム設置
- H15 下部耐震補強工事

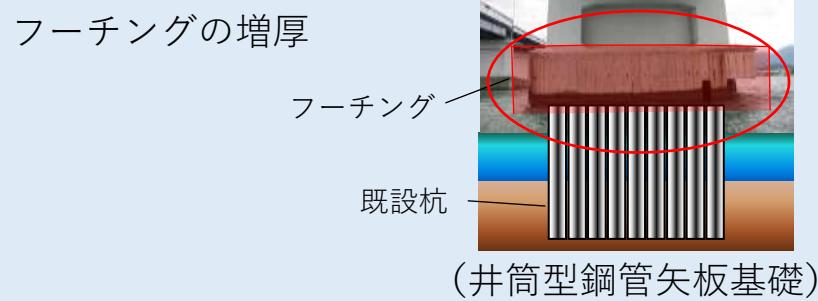


今回の耐震対策

○旧橋



○新橋



—② 大津側 4車線化— R161号真野IC ~琵琶湖大橋交差点



—③ 守山側 4車線化—

琵琶湖大橋東詰交差点～水保町中野交差点



琵琶湖大橋有料道路 第6期事業 料金徴収期間の延長に ご理解ご協力をお願いいたします

令和4年1月

滋賀県道路公社では、琵琶湖大橋有料道路（第6期）事業として平成28年3月から、「琵琶湖大橋本体の耐震対策」、「取付道路（国道477号）の4車線化」、「ETCの導入」に取り組んでいます。

現在は、湖西道路真野ICから守山市水保町中野交差点までの事業区間4.2kmのうち、大津市側（1.9km）で4車線化工事を実施しています。

事業の内容について精査したところ、真野川河川改修に伴う橋梁計画の見直し、舗装工の増工および琵琶湖大橋下部工の保護PC板の更新等、工事の追加や変更により事業費が増加したことから、料金徴収期間の延長（令和11年8月4日→令和16年10月22日）が必要となりました。

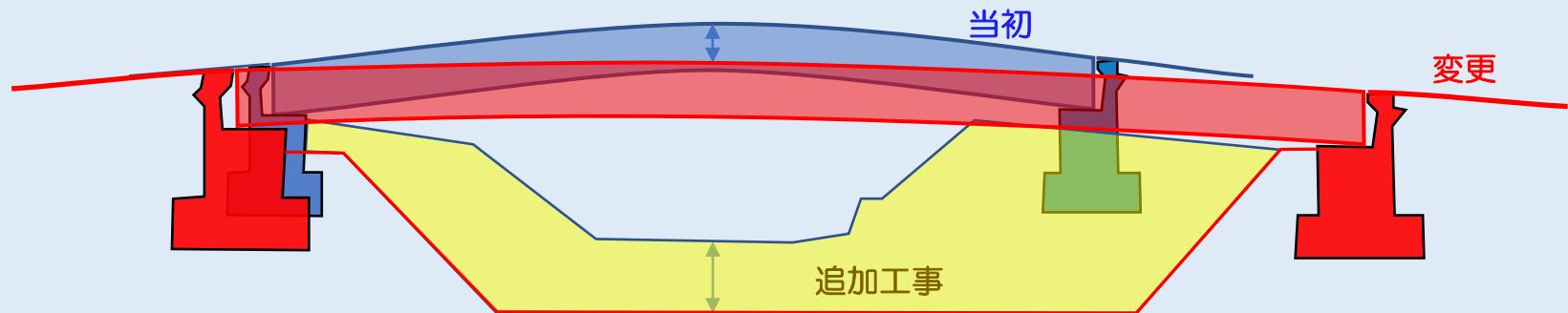
ご利用の皆様には、ご負担をおかけすることとなります、安全性・利便性の向上に努めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



事業の変更内容について

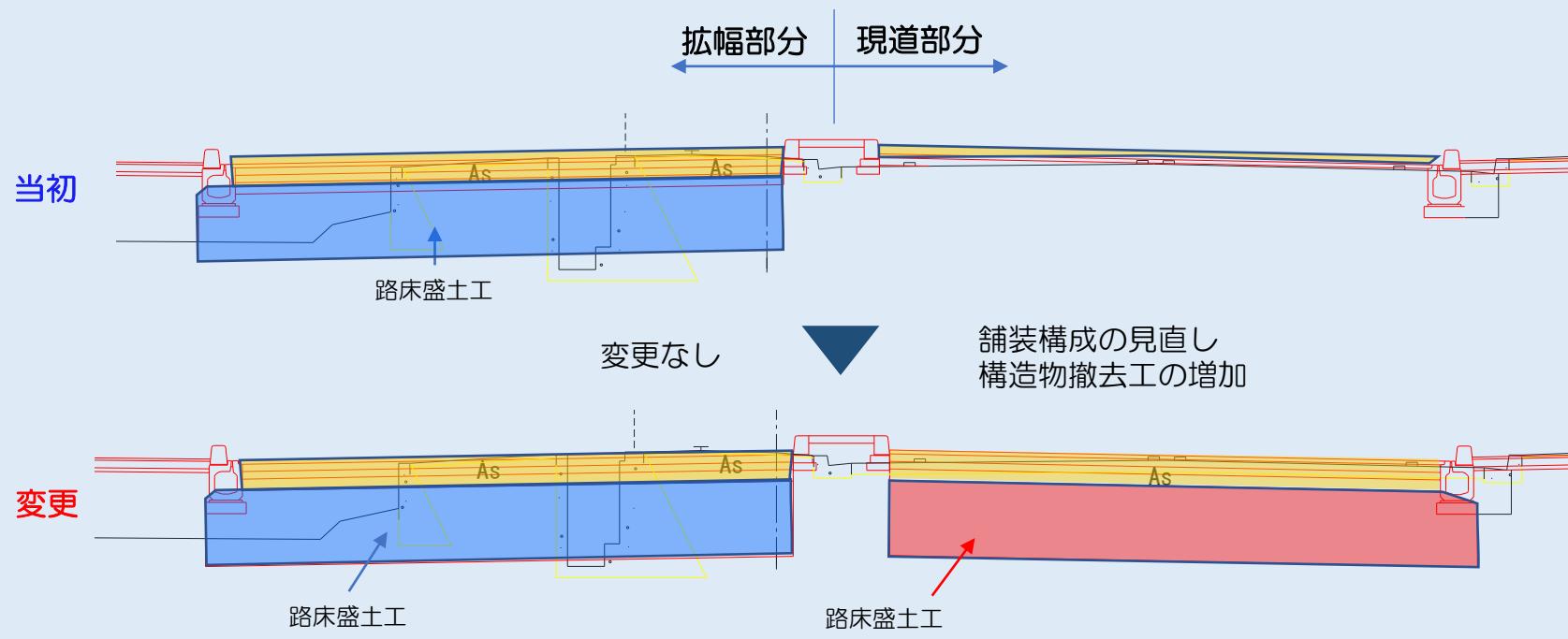
橋梁（新宿橋）計画を変更します

橋梁上の見通しを確保するため、川を切り下げ、縦断勾配を変更します。このため、橋長を変更する他、河川の掘削や護岸工等を行います。



土質試験の結果による舗装工等を変更します

土質試験の結果、現地盤が軟弱であったことから、現道部の舗装構成を見直し施工します。



琵琶湖大橋下部工の保護PC板を更新します

調査により、橋脚基礎部を覆うPC板が風浪によって多数破損している事が確認されました。橋脚下面への船舶の入り込みによる事故や、杭への衝突を防ぐため、耐震対策工事と一緒に整備を行います。

